

平成11年6月14日
気象庁予報部

配信資料に関する技術情報（気象編）第50号
－ 地上24時間予想図（FSAS）の改良について －

気象庁では日本近海や北西太平洋域を航行する船舶のために、FAX天気図として、警報事項を書き加えた地上天気図（ASAS）とともに、24時間後の気圧配置を予想した地上24時間予想図（FSAS）を配信しています。この図にはこれまで低気圧や高気圧、台風的位置と中心気圧、前線的位置、台風の最大風速などを表示していましたが、更に一目で悪天域が分かるように改善し、1999年7月15日00UTC初期値のFSASから内容を変更します。

具体的には、気象庁の責任海域（北緯0～60度、東経100～180度）に、次の要素を表示します。

- 1) 台風や発達した低気圧の中心付近などで、強風（30kt以上）が予想された場合、その領域の風向風速を矢羽根を使って表示します。なお、FSASに表示される台風の中心位置は従来と同様に、24時間予想の予報円の中心位置です。
- 2) 濃霧が予想される場合は、地上天気図（ASAS）と同様に日本海、オホーツク海などの閉じた海の場合はその海域に「FOG」と表示し、太平洋域の場合は波線で囲んだ領域に「FOG」と表示します。
- 3) 船体着氷が予想される領域に斜線を付けて表示します。
- 4) 冬季においてオホーツク海などで海水が発生した場合、海水域を表示します。なお、海水域の詳細については、全般海水情報（STPN）などをご利用下さい。

このFSASの発表は警報事項を伝えるものではありません。これまでと同様に、警報の詳細な内容は全般海上警報や地方海上警報により、1日4回（海上台風警報・海上暴風警報が発表されているときは8回）発表されていますので、そちらをご利用いただきますようお願いいたします。台風の予報円・暴風警戒域等は台風72時間予想図（WTAS07）も併せてご覧下さい。

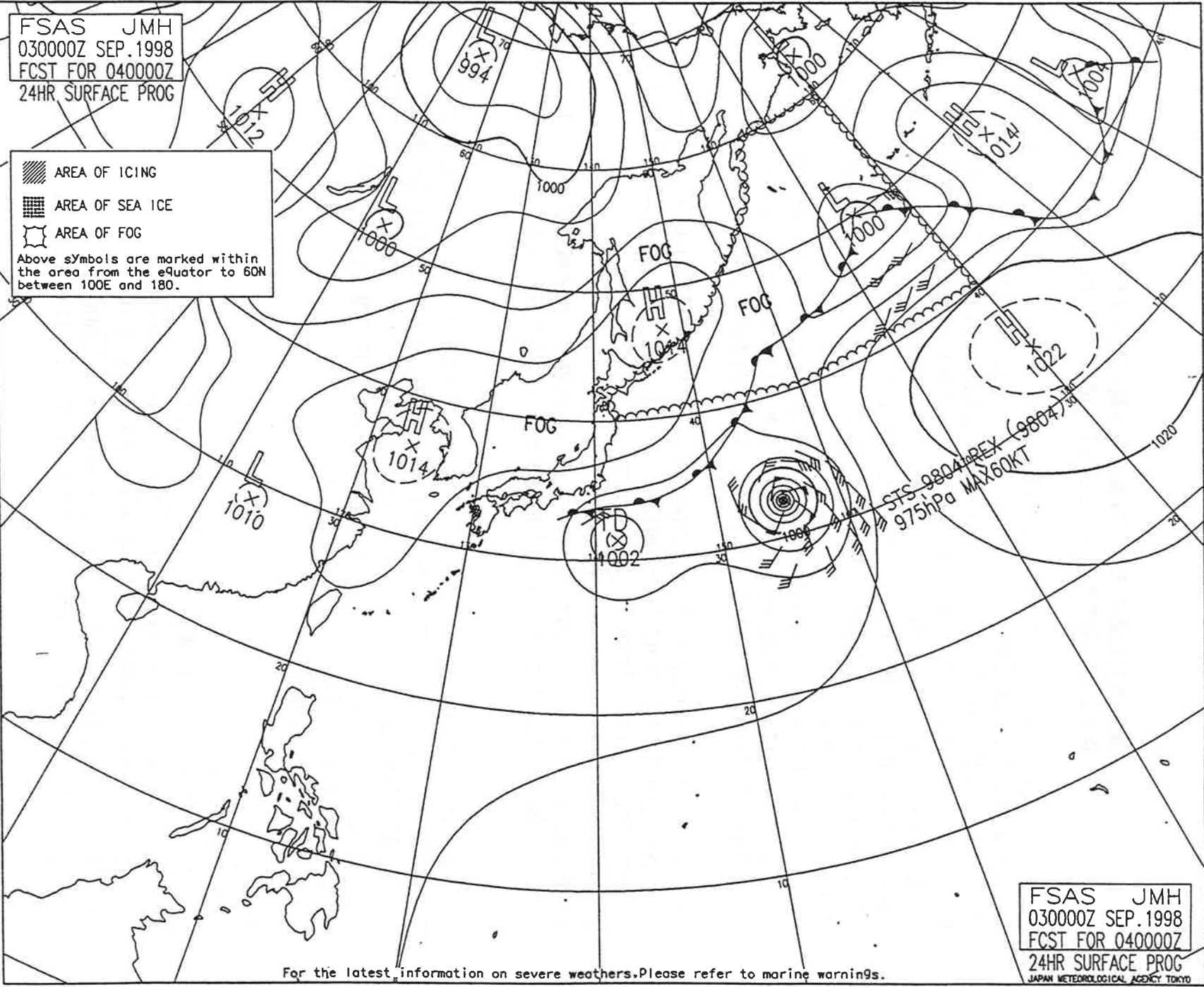
なお、配信時刻、画種名等は従来通りです。

【参考】

配信資料の画種名等

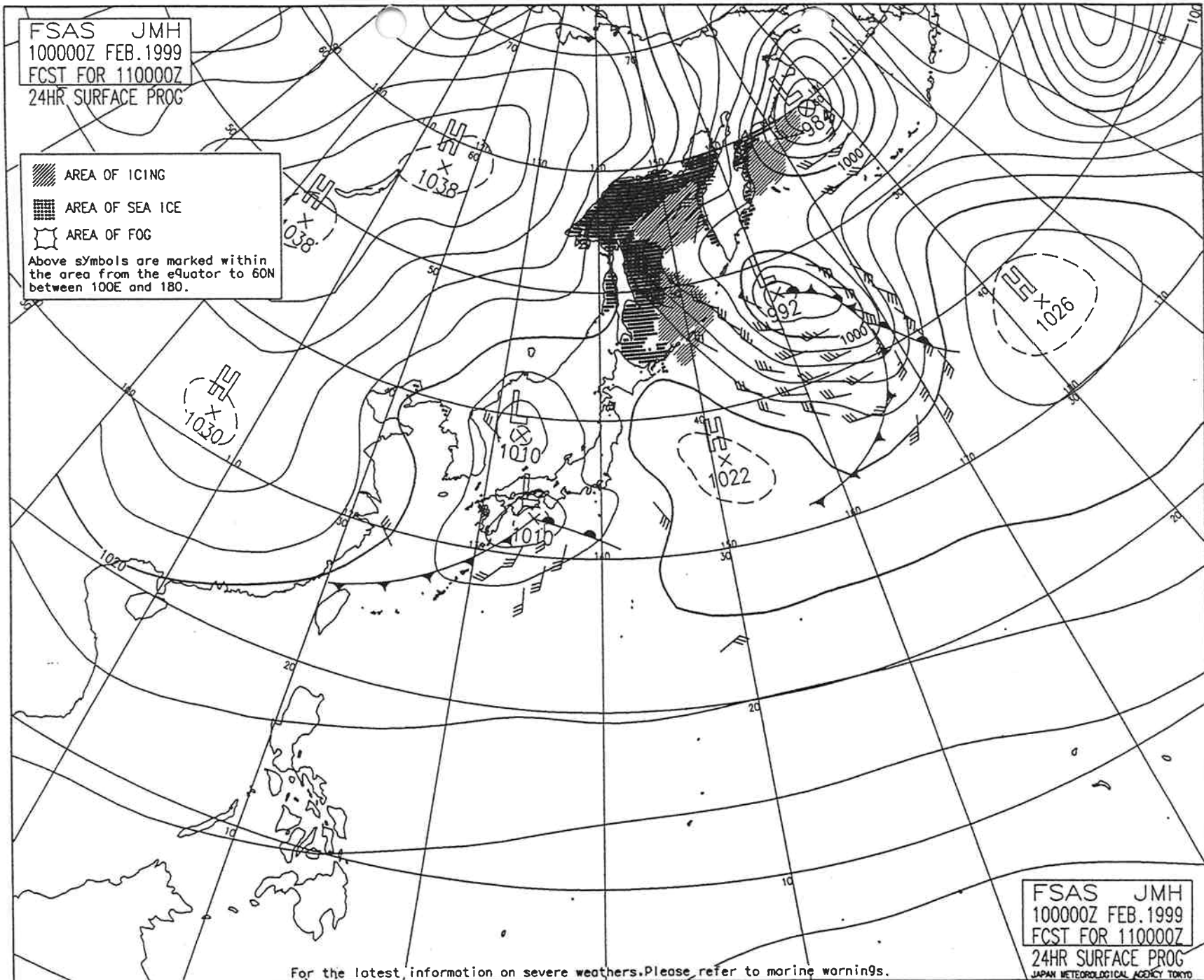
配信時刻	画種名	ヘッダ
14:30(JST)	FSAS-00	QACE98 RJTD YY0000
04:10(JST)	FSAS-12	QACE98 RJTD YY1200

配信方法：気象業務支援センター（東京）から、FAX図情報（アナログ、デジタル、新デジタル）で配信。ただし、デジタル、新デジタルは東京からのみの配信



For the latest information on severe weathers, Please refer to marine warnings.

新しいFSASの例 (台風が発生している場合)



新しいFSASの例（船体着氷が予想される場合）